「考えて書く感話」

3年　M.U

私は、感話や感想文などを書くことが苦手です。よく考えもせずに、きれいごとを並べてしまいます。テーマについてありがちなことを書き、なんとか字数をかせいでまとめるという感じです。

自分で自分が書いた感話を読み直していても、「うすっぺらい」と思います。うまく表現することができないのですが、「うすっぺらい」という言葉が一番あっているような気がします。しかし、フェロシップホールで聞く先輩達の感話はどれも、「うすっぺらい」感じがしませんでした。何故、私の感話は、先輩達の書く感話と違うのか、考えてみました。

私は感話を書くことが苦手で、嫌いです。そのため、いつも後まわしにしてしまいます。この感話を書いたのも春休み最終日でした。そのため、時間がなく、よく考えずにありきたりなことをさらっと書いて終わしてしまいます。思ってもいないきれいごとを並べて書くことも、良くあります。そのため、私の感話には説得力がなく、「実際はそんなこと思っていないんだろうな」と聞いている人達に思わせてしまうように感じます。正直な感想を人から聞いたことはありませんが、自分で読み返しても、「うそっぽい」と感じるような感話です。しかし、先輩達の感話は全く「うそっぽい」感じがしません。それは、その先輩が、本当に自分が思ったことを書いているからではないかと思います。テーマについてきちんと考えてから書いているからだと思います。考えれば、書くことも沢山でてきます。私は考えていないので、同じことを言葉を変えて何度も書き、字数かせぎをしてしまいます。

これらの、考えない、思っていないことを書く、字数をかせぐ、ということが、私の感話を「うすっぺらく、うそっぽい」感話にしてしまっているのだと思います。

これらを改善するには、どうすれば良いのでしょうか。それは、「考える」ということだと思います。今まで考えずに簡単に感話を書いてきたので、言葉で言うのは簡単ですが、実行することはかなり難しいと思います。私の普段の生活をふり返ってみても、口先だけで実行していないことが沢山ありました。小さいころから母親に、「口ばっかり」と言われていました。宣言したことを実行に移すのには、強い意志と、行動力が必要だと思います。私にはそれらがあるようには思いません。私にはないと思っている時点で改善することは難しいのかもしれませんが、少しずつ自信をつけていくことができれば可能かもしれません。最初から完ぺきにやるのは無理なので、本当に小さいことからはじめようと思います。例えば、毎日一つ英単語を覚えるくらいのレベルのことです。そこから徐々に大きなことにも挑戦していけば良いと思います。少し話がそれてしまいましたが、考えること。そのために日常から宣言したことを実行に移すための努力をすること。このことを目標にがんばりたいです。

今の私の知識、語い力、文章を書く力はとても少ないです。知識を増やすこと、語い力を高めることも大切ですがその前に、考えて自分の思っていることを書くということを頭の中におきたいです。そしてこれからは、「うすっぺらくも、うそっぽくもない」感話が書けるようになりたいです。